豊根村立豊根中学校

拓け豊根学　岩石をてがかりに読み解く過去の姿

豊根村にある愛知県最高峰（1416m）の茶臼山

村の大地の成り立ちを探る

ただの石ころにも今は興味

長野県との県境に位置する愛知県北設楽郡の豊根村立豊根中学校は、全校生徒10名の小規模校だ。同校の校舎裏を流れる大入川の河原では１億年以上前の変成岩のほか堆積岩、玄武岩や花崗岩などの火成岩といった岩石が採集でき、１年理科（地学分野）の学習で地域の大地の成り立ちを探る資料として利用している。

現２年生の４名は地域の専門家の助言や地質図を手がかりに、かつて地中深くにあったマグマだまりの上に海が形成され、その後の隆起と火山の噴火を経て現在の豊根村ができた経緯を学習。鈴木希空さんは「それまではただの石ころと思っていたけど、今では『これは花崗岩かな、安山岩かな』などと興味が向くようになりました」と自身の変化について話す。

今年度は全校生徒10名が学んでいる

奥三河郷土館で岩石展示の担当者に助言をもらう様子

北設楽郡内の共同研究校に向けたオンライン発表会

双眼実体顕微鏡で観察するため、採集した岩石を細かく砕く

成果発表会では、高校生や大学の先生からの質問にも丁寧に受け答えできた

●**実施担当**
髙森彦輝　教諭

●**活動のモットー**
間違っていてもいいのでまずはしゃべらせる。授業や実験で根拠を示せば自分の話したことが正しかったか否かに自ずと気づく。

学校概要

早くからICT環境を整えたほか、同敷地内の村立小学校、保育園と保小中連携を進めるなど独自教育を展開する村内唯一の中学校。

設　立：1974年
生徒数：10人
所在地：愛知県北設楽郡豊根村上黒川字兎鹿嶋12番地2

後輩に受け継がれるアドバイス

学習した成果は、郡内の他の中学校に向けたリモート学習会で発表したほか、24年12月の中谷財団成果発表会では口頭発表とポスター発表を行った。塚本悠輝さんや村井佑珀さんは「学校の先輩たちの前で練習をして、『その説明ではわかりにくい』などとアドバイスをもらいました」と発表会に向けた準備を振り返る。担当の髙森彦輝教諭は、「練習の甲斐もあって、地学の専門家からの質問にも自分たちの言葉で真摯に答えることができていました」と言う。

今年度の１年生は、昨年度の研究の成果をもとに、郡内の中学校と連携してより広い範囲の地質調査を目指す。當山勇希さんは、「研究発表では自分の中で疑問が残っていると質問に対応できなくなるので、１年生には疑問点が解消されるまでしっかりと調べるように伝えたいです」と、これから活動を本格化させる後輩に対して頼もしいアドバイスを用意していた。（複数校連携助成2年目）

この活動は，中谷財団の「科学教育振興助成」により行われています。

公益財団法人 中谷財団　〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎 セントラルタワー8階
中谷財団　検索

シスメックス株式会社創立者の故·中谷太郎が私財を投じて設立。BME(Bio Medical Engineering)分野の発展を願い,表彰事業をはじめ各種研究助成,若手研究者支援や国際交流事業を展開。さらに,すそ野拡大のため,小中高校生の科学探究活動に対し助成事業を行っている。2024年に設立40周年を迎え,「中谷財団」に名称を変更した。